

■ コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り3.21人と増加しています。佐伯区8.3人、東区7.7人、安芸区4.0人と特に多くなっています。

2. 百日咳

11人(定点当り0.46人)報告されています。うち7人が20歳以上です。

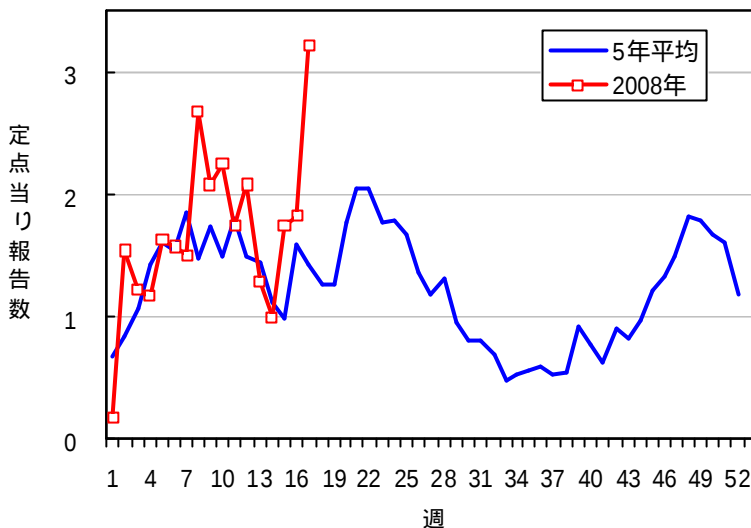
3. 感染性胃腸炎

定点当り7.67人とほぼ横ばいとなっています。中区17.7人となっています。

4. インフルエンザ

定点当り1.05人とやや増加しています。39人のうち24人が佐伯区からの報告です。ほぼ終息していますが、少数の報告は続くと考えられます。なお、今シーズンのインフルエンザウイルスは、シーズン全体ではAノ型が主流ですが、第9週以降A香港型が検出されており、その割合が増加傾向にあります。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	39	1.05	3.52	◀	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.05	
咽頭結膜熱	7	0.29	0.24		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.89	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	3.21	1.42	▶	RSウイルス感染症	3	0.13	-	
感染性胃腸炎	184	7.67	8.44	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	57	2.38	1.94	◀	流行性角結膜炎	-	-	0.83	
手足口病	25	1.04	0.56	◀	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	5	0.21	0.22		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	30	1.25	0.66		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.46	
百日咳	11	0.46	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)

(注2)鳥インフルエンザを除く

(注3)オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	1	60	男性(20歳代)・1人
4	つつが虫病	1	2	男性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	4	男性(70歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	2	女性(10歳代)・B型
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	女性(70歳代)・女性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	3	男性(20歳代)・無症候
5	麻疹	3	34	男性(10歳未満)・男性(20歳代)・女性(20歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

			インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注2)
報告数	広島市	第13週	77	5	31	252	43	10	3	15	5	1	1	-	-	14	-	-	2	-
		第14週	69	6	24	212	36	16	3	20	3	-	1	1	1	3	1	1	2	-
		第15週	51	3	42	219	52	18	5	18	6	-	1	1	2	5	-	-	3	-
		第16週	35	8	44	196	43	22	8	22	8	-	2	-	2	6	-	1	5	-
		第17週	39	7	77	184	57	25	5	30	11	3	2	3	-	-	-	-	3	-
定点当り	広島市	第13週	2.08	0.21	1.29	10.50	1.79	0.42	0.13	0.63	0.21	0.04	0.04	-	-	1.75	-	-	0.29	-
		第14週	1.86	0.25	1.00	8.83	1.50	0.67	0.13	0.83	0.13	-	0.04	0.04	-	0.38	0.14	0.14	0.29	-
		第15週	1.38	0.13	1.75	9.13	2.17	0.75	0.21	0.75	0.25	-	0.04	0.04	0.25	0.63	-	-	0.43	-
		第16週	0.95	0.33	1.83	8.17	1.79	0.92	0.33	0.92	0.33	-	0.08	-	0.25	0.75	-	0.14	0.71	-
		第17週	1.05	0.29	3.21	7.67	2.38	1.04	0.21	1.25	0.46	0.13	0.08	0.13	-	-	-	-	0.43	-
	全国	第15週	0.80	0.27	1.72	8.71	1.55	0.17	0.15	0.67	0.04	0.06	0.34	0.09	0.05	0.70	0.02	0.01	0.35	0.03
		第16週	0.71	0.34	2.15	8.92	1.57	0.25	0.18	0.71	0.05	0.10	0.34	0.07	0.03	0.63	0.02	0.03	0.29	0.02

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	6	女	2008/03/12	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	5	男	2008/03/17	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	7	男	2008/03/21	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	2	女	2008/03/22	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	3	男	2008/03/23	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	9	男	2008/03/29	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	4	男	2008/04/01	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	10	男	2008/04/02	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	14	女	2008/04/04	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	1	男	2008/04/05	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
咽頭結膜熱	6	女	2008/03/17	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
咽頭結膜熱	11	男	2008/03/20	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
感染性胃腸炎	0	女	2008/02/24	糞便	ロタウイルス (A群)
感染性胃腸炎	1	男	2008/03/08	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	女	2008/03/10	糞便	ロタウイルス (A群)
感染性胃腸炎	1	女	2008/03/11	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	3	男	2008/03/18	糞便	ロタウイルス (A群)
肺炎	不明	女	2008/03/20	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

【参考】劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、第17週に2件報告されました。広島市では、2000年以降、年間0～2件報告されています。

A群溶血性レンサ球菌は、咽頭炎だけでなく、膿痂疹(うみを伴ったできもの)、猩紅熱、中耳炎、肺炎、関節炎、髄膜炎などいろいろな病気を起こします。

中でも、劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、菌が手足等の軟部組織を壊死させ、多臓器不全などを併発することもある重症の疾患です。毒素や遺伝子の研究は進んでいますが、その発症機序など詳細は、今でも明らかになっていません。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2008年第17週(4月21日～4月27日)